

平成 29 年度全国学力・学習状況調査の結果について

【全体概要】

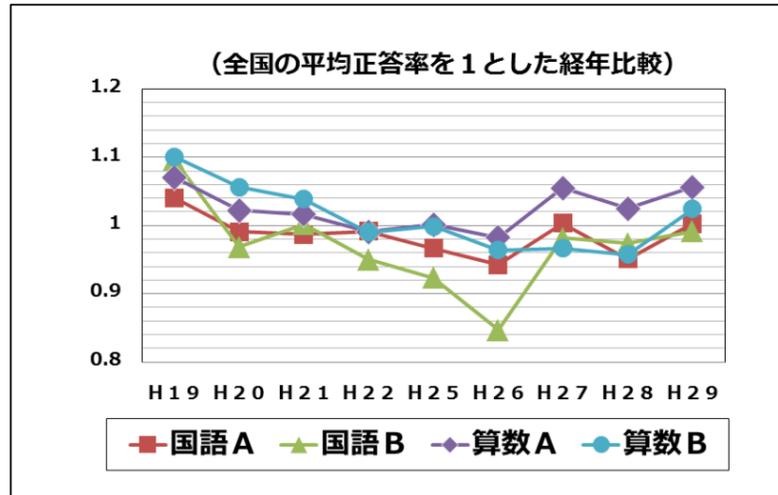
枚方市立蹉跎西小学校

文部科学省が今年 4 月に実施した、平成 29 年度全国学力・学習状況調査の結果について、保護者の皆様にお知らせします。結果によると、児童の生活習慣と学力には相関関係があることから、今年度は、全国を基準とした経年推移によって、本校の学力や学習の状況をお知らせするものです。引き続き、保護者の皆様にもご協力をお願いいたします。

学力調査の結果

※調査結果について
教科や出題範囲が限られていることから、
全国学力・学習状況調査により測定できるのは、学力の特定の一部です。

学力調査結果の中から、本校と全国の経年比較（対全国比）をお知らせします。



＜学力調査結果の概要＞

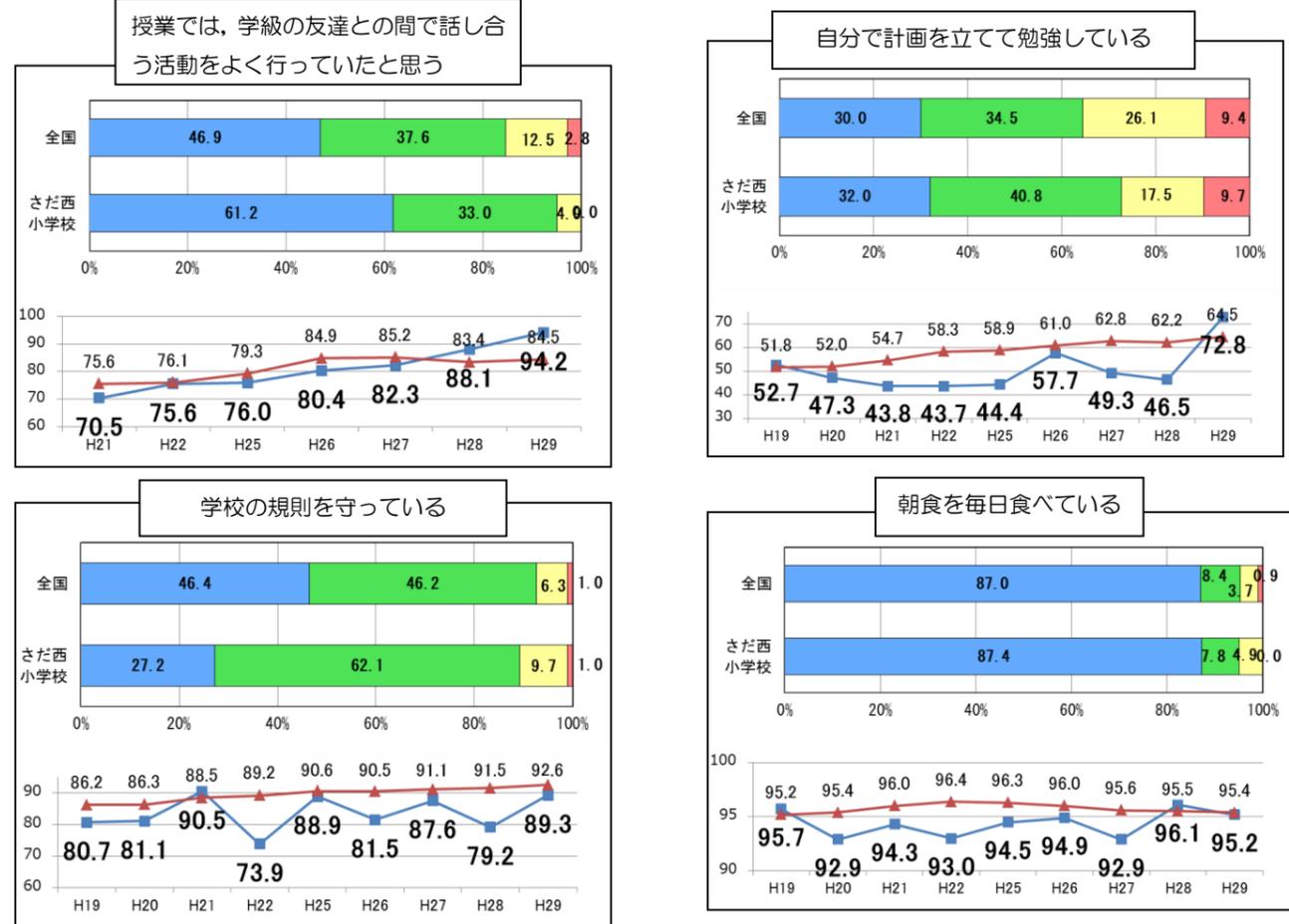
- 国語 A について→調査開始以降、平成 26 年度を底に全国並みになってきていましたが、今年度、全国と同じでした。
- 国語 B について→調査開始以降、全国と比べて平成 26 年度を底に、徐々に好転してきていましたが、今年度はわずかに下回りました。
- 算数 A について→調査開始以降、平成 26 年度を底に全国を徐々に上回ってきており、今年度も上回りました。
- 算数 B について→調査開始以降、平成 26 年度を底に全国を下回っていましたが、今年度は上回りました。

※本調査は、平成 19 年度から実施されています。

※平成 23 年度は中止(東日本大震災)、平成 24 年度は一部の学校を対象にした抽出調査のため、掲載していません。

質問紙調査の結果

質問紙調査結果の中から、主な項目について、本校と全国の経年比較をお知らせします。



＜質問紙調査結果の概要＞

- 授業改善について→平成 26 年度から校内研究として「話し合い活動」を行ってきた成果が今年度は特に顕著に現れ、全国を大きく上回りました。
- 家庭学習について→昨年度 3 学期より「家庭学習の手引き」を各家庭に配付し、家庭と連携しながら家庭学習を行った結果が現れ、全国を大きく上回りました。
- 学習規律について→昨年度より校内研究を「特別な教科 道徳」を行ってきた成果が現れ、昨年度の肯定的回答を大きく上回りました。
- 生活習慣について→調査開始以降、全国をわずかに下回っていましたが、昨年度から上回り今年度はほぼ同じでした。規則正しい生活、基本的な生活習慣は身につけています。

＜まとめ＞

今年度は、国語 A・国語 B、算数 A・算数 B、すべてにおいて成果を見ることができました。これは、授業改善のための校内研究「話し合い活動」「Hirakata 授業スタンダードを取り入れた授業改善」「特別な教科 道徳」の充実を図ってきた結果であると考えます。また、学力向上に向けて、「ラーニング・スポットの推進」「朝学習の内容の改善」「絵本の広場の開催」や、家庭学習のための「家庭学習の手引きの配付」「自学自習ノートの推進」等の効果が現れてきていると思います。今後もこれらの取組をさらに深化させてまいります。

※次ページ以降に、「各教科に関する調査」「質問紙調査」における詳細な結果について公表しております。

<算数(数学) A> (主に知識に関する問題)

成果や課題があった設問

【成果】

1

(2) リボンを0.4 m 買います。このときの代金を□円として、リボンの長さ
と代金の関係を下の図に表します。

「1 m あたりの値段の60」、「買う長さの0.4」、「0.4 m 分の代金の□」
のそれぞれの場所は、下の図のどこになりますか。

ア から オ までの中から、あてはまるものを1つずつ選んで、その
記号を書きましょう。

	正答率	無解答率
蹉跎西小学校	82.2	0.0
全国	69.9	1.8

(考察)
(整数)×(小数)の計算において、乗
数を整数に置き換えて考えるときに用
いる、乗法の性質を理解しているかどう
かをみる問題です。
学習指導にあたって、乗法の性質を用
いて、小数の乗法の計算の仕方を考える
ことができるようにする指導の成果が
現れています。

【課題】

2

(4) $5 \div 9$ (商を分数で表しましょう。)

	正答率	無解答率
蹉跎西小学校	49.5	6.9
全国	69.2	3.9

(考察)
商を分数で表すことができるかどうかをみ
る問題です。
学習指導にあたって、整数の除法の結果は
分数で表すことができることを理解できるよ
うに指導していきます。

<算数(数学) B>

成果や課題があった設問

【成果】

2

ゆりえさんたちは、交流会に来てくれた地域の寄20人に、お礼の手紙と
記念品をいっしょに封筒に入れて送ろうとしています。

1通送るのにかかる料金は、封筒の大きさや重さによって、次のように
決まっています。

封筒の大きさ	封筒の重さ	料金
小さい封筒	25g以内	82円
	50g以内	92円
大きい封筒	50g以内	120円
	100g以内	140円
	150g以内	205円

手紙と記念品を小さい封筒に入れると、1通の重さは27gになりました。
また、大きい封筒に入れると、1通の重さは36gになりました。ゆりえさん
たちは、料金が多すぎないように、小さい封筒に入れて送ることに
しました。

(1) 手紙と記念品を封筒に入れて、20通送るときに料金のついて考えます。
小さい封筒に入れて送る場合は、大きい封筒に入れて送る場合と比べて、
何円安くなりますか。
求め方を言葉や式を使って書きましょう。また、答えも書きましょう。

	正答率	無解答率
蹉跎西小学校	58.4	5.0
全国	40.4	6.4

(考察)
料金の差を求めるために、示された資料か
ら必要な数値を選び、その求め方と答えを、
言葉や式を用いて記述できるかどうかをみる
問題です。
学習指導にあたっては、日常生活の問題の
解決のために、情報の中から条件に合うもの
を選択し、数学的に処理することができるよ
うに指導してきた成果が現れています。

【課題】

4

4

学校で、4年生以上の学年について、ハンカチとティッシュペーパーを
持ってきているかどうかについて調べました。

ゆうじさんは、調べた結果を次のようにまとめました。

学年	ハンカチを 持ってきた	ティッシュペーパーを 持ってきた	両方持っ てきた	学年の人数
4年	40	47	2	52
5年	62	61	1	70
6年	52	57	1	60

ゆうじさんが作った表には、ハンカチとティッシュペーパーを
両方持ってきた人数が書いてありません。

さくらさんは、表をもとに次の式をつくり、ハンカチとティッシュペー
パーを両方持ってきた5年生の人数を54人と求めました。

【さくらさんの式】
 $70 - 61 = 9$
 $9 - 1 = 8$
 $62 - 8 = 54$

【さくらさんの式】の中の、「9」は、ティッシュペーパーを持ってこ
なかった人数の合計を表しています。この「9」は表の「オ」にあてはまります。

下の表は、5年生の結果をまとめたものです。

ハンカチ	ティッシュペーパー		合計
	持ってきた	持ってこなかった	
持ってきた	ア	イ	62
持ってこなかった	ウ	エ	
合計	61	オ	70

	正答率	無解答率
蹉跎西小学校	20.8	2.0
全国	29.3	4.6

(考察)
割合を比較するという目的に適したグラフ
を選ぶことができるかどうかをみる問題で
す。
学習指導にあたっては、様々なグラフの特
徴を理解し、目的に応じて、適切なグラフを
選択できるようにする指導を行っていきま
す。

ゆうじさんたちは、調べた結果をグラフに表して発表しようとしています。

ゆうじ

ハンカチとティッシュペーパーの割合を、いちばんよく持っ
てきている学年がわかるようなグラフを作りたいです。

さくら

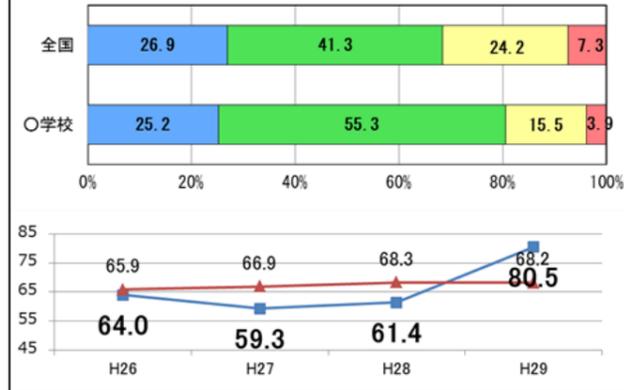
学年の人数がらうので、「学年の人数」をもとにしたときの
「ハンカチとティッシュペーパーの両方を持ってきた人数」の
割合がわかりやすいグラフを作りたいと思います。

(2) それぞれの学年の、「学年の人数」をもとにしたときの「ハンカチと
ティッシュペーパーの両方を持ってきた人数」の割合を表すのに、最も
適したグラフは、次の1から4までのうちのどれですか。
1つ選んで、その番号を書きましょう。

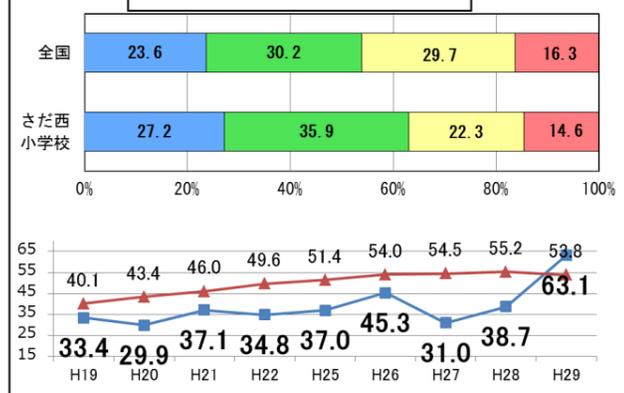
質問紙調査について

【成果のあった項目】

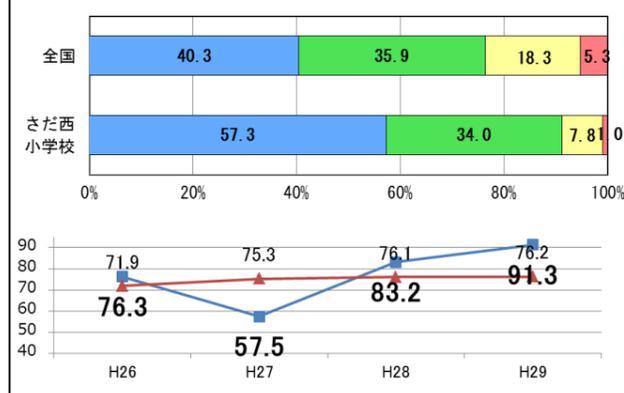
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う



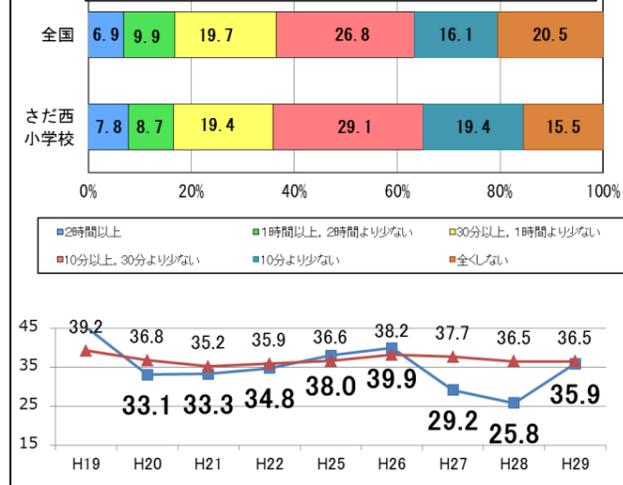
学校の授業の復習をしている



授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思う



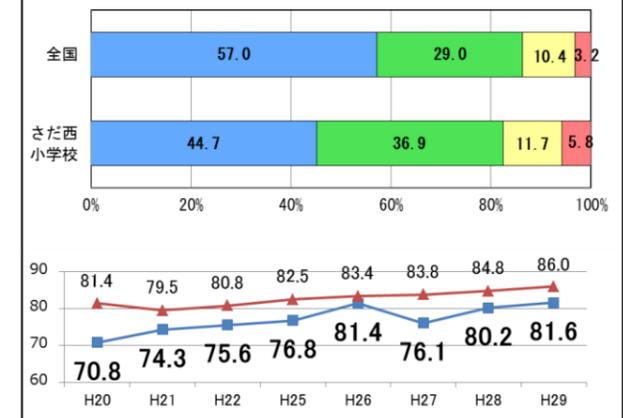
学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか



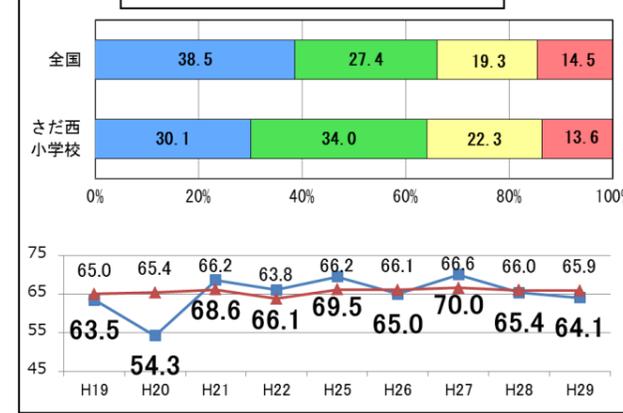
※折れ線は、30分以上読んでいる割合

【課題が残った項目】

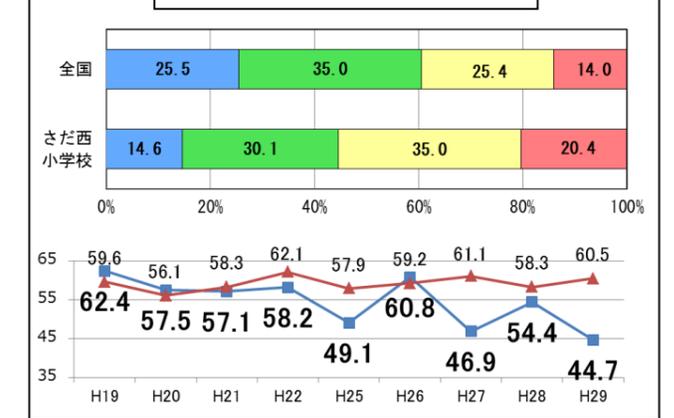
算数の授業で、問題の解き方や考え方が分かるようにノートなどに書いている



算数の勉強は好きですか



国語の勉強は好きですか



(課題が残った項目の考察)

・「算数の授業で、問題の解き方や考え方が分かるようにノートなどに書いている」項目の肯定的回答については、平成27年度を底に徐々に上がってきていますが、全国を下回っています。国語の書く項目の肯定的回答については、全国より上回ってきて改善されてきています。今後は、算数の授業において、問題の解き方や自分の考え方を書く指導を増やしていきます。

・「算数の勉強は好きですか」「国語の勉強は好きですか」の項目の肯定的回答が減ってきています。しかし、「算数の授業の内容はよく分かりますか」「国語の授業の内容はよく分かりますか」の項目の肯定的回答は増えています。授業は理解できるが、あまり好きではないということが分かります。これは進んで学習に取り組む姿勢に現れてきますので、子どもたちが「算数の勉強が好き」「国語の勉強が好き」と思えるよう興味・関心を引き出す工夫に努めていきます。

分析結果を踏まえて今年度中に取り組んでいくこと

(1) 授業改善について

「Hirakata 授業スタンダード」に基づいた「主体的・対話的で深い学び」について、校内研究を進めるとともに、子どもたちが「わかる、楽しい」と思える授業改善に努めていきます。

(2) 学習規律について

「枚方スタンダード」や本校の「話し方・聞き方の目安」の定着を図り、児童が授業に集中できるよう取り組んでいきます。

(3) 家庭学習について

「家庭学習の手引き」に基づき、宿題、予習、復習のあり方、自学自習方法、自学自習ノートの活用方法等について児童に指導していきます。各ご家庭でのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

(4) 自学自習力の向上について

今年度も毎週火曜日・木曜日・金曜日に「やる気ング」を行っています。これからも継続して児童に自学自習力を身に付けさせていきます。また、「ラーニングスポット」にあるプリントを使って、児童が自主的に勉強するよう指導していきます。

(5) 読書習慣の定着について

国語科の「図書の時間」を充実させ、毎週火・木曜日の朝学習の時間に、全校一斉読書を引き続き行い、読書時間の確保を図っていきます。また、外部ボランティアの方により、全学年、本の「読み聞かせ」を行っていきます。また「ブックワールド」を設置し、児童の活用を図っていきます。

(成果のあった項目についての考察)

・話し合い活動のすべての項目の肯定的回答について全国を上回りました。その中で「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」の項目の肯定的回答も上回り、次期学習指導要領の改訂のポイントの一つ「主体的・対話的で深い学び」が実践されていることがよく分かり、また成果が現れていることも分かります。

・家庭学習のすべての項目の肯定的回答について全国を上回りました。今後もさらに自学自習力向上に努めていきます。

・読書についての項目の肯定的回答も今年度は好転しています。これは1学期に「絵本の広場」の開催や火・木曜日の全校一斉朝読書、ブックワールドの実施等による成果であると考えます。

・「Hirakata 授業スタンダード」に関する項目の肯定的回答も全国を上回っています。今後もさらに進めてまいります。